

2005年を乗りきる

「節約&お金儲け」

究極の裏ワザシリーズ

第5回

ハガキ1枚、メール1通で

最新家電

旅行券

高級食材

現金

1年で最高240万円相当当てた

懸賞達人・小島かつらさんの

# 「懸賞で稼ぐ!!」 7つの ラッキーポイント

アクセサリ117万円相当

時計(32万円相当)はテレビ朝日「トゥナイト2」、指輪(どちらも30万円相当)はテレビ朝日「やじうまワイド」「やじうまプラス」、ダイヤモンドブチネックレス(10万円相当)はホームページの「朝日マリオン」、淡水パールネックレス(どちらも1万円相当)は、ダイエーとロッテの懸賞で。また、地元の番組でパールセット(15万円相当)とファッションリング(10万円相当)に当選

懸賞歴13年というキャリアを持つ主婦の小島かつらさん。趣味で始めたとはいえ、年間総額200万円以上に相当する賞品を当てたこともあるという懸賞達人です。そのキャリアから導き出された、小島流「当たる秘訣」を教えます!

## 小島さんが当てたスゴイもの 1年間で240万円相当!

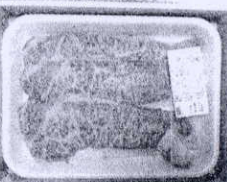
懸賞の達人  
小島かつらさん



生活を楽しむ小島さん。懸賞サイト「懸賞サ☆」に懸賞専用サイトの運営も携わる。懸賞天晴!の運命も懸賞情報も携わる。

かにかめ納豆、みやき生協などの懸賞

牛肉  
でん六、サークルK、サンクスなどの懸賞



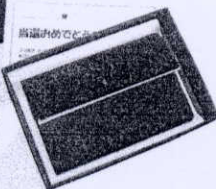
旅行券  
共済の公募、TBS「どうぶつ奇想天外!」などの懸賞

現金3万円

丸美屋食品の春のふりかけキャンペーンの懸賞

財布

財布(4万円相当)は、地方ラジオ番組の懸賞で



小島さんは、夫と中学生・高校生のお子さん2人の4人家族。ハガキ懸賞からスタートした当初は、子供たちの喜ぶ顔みたさにせつせと応募していたとか。それが今では「趣味や旅行はすべて懸賞でまかなうというのが家族の基本に」(小島さん)。例えば、温泉旅行券が当たったら別の懸賞で当たったハイウェイカードを使ってドライブがてら家族旅行に、旅行券が当たれば新幹線代にするなど。お子さんたちも欲しい物があるときは、「買って」ではなく「懸賞で当て」とはつばをかけるのだそう。

「最初から、車や海外旅行などの大物ばかり狙わず、ヘアケア製品のモニターや、ビール・発泡酒など数千・数万円に当たるものから手堅くトライ。徐々に当たりやすくなる。徐々に当たりやすくなる。徐々に当たりやすくなる。徐々に当たりやすくなる。」(小島さん)

「気をつけたいのは、あまり熱中しすぎないこと。家事がおろそかになったり、応募作業に忙しく夫との会話がなくなったりしてしまった夫婦のなかには離婚にまで発展したケースもあるとか。応募するからには当たらない!とはいえず、日常生活に影響しないように、時間配分を考えて取り組みたいもの。」

とはいえ、小島さんの懸賞はコストを抑え、生活の中で余った時間で楽しむというのが Motto。プロバイダー料金やハガキ代がかかるのはしかたないことですが、1週間でハガキ10枚、昼食後の1時間だけネットで応募など、無理のない条件で長く続けているとのこと。「そうすることで、効率的な応募のコツをつかんだり、当たりやすそうなる懸賞を見抜く嗅覚が発達してくるんですね」(小島さん)